

「荒廃する日本」としないために

話題提供

大学教員の立場から

東京工業大学

岩波 光保

(iwanami@cv.titech.ac.jp)

本日の内容

1. 行政の動き
2. 今後のインフラマネジメントのあり方
3. 技術開発
4. 人材育成

行政の動き

国交省・社会資本メンテナンス戦略小委員会・答申(2013.12.25)

社会資本整備審議会・交通政策審議会

今後の社会資本の維持管理・更新のあり方について 答申の概要

主旨

維持管理・更新に関する現状と課題を踏まえ、**今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の方向性、戦略的な維持管理・更新に関する基本的な考え方**及び**国土交通省等が重点的に講ずべき具体的施策**に関して、技術部会社会資本メンテナンス戦略小委員会(平成24年7月設置)において審議し、取りまとめたもの。

第1章 維持管理・更新の現状と課題

- 社会経済情勢とこれまでの取組
- 国土交通省所管施設の実態と課題
- これまでの維持管理・更新に関する技術的進歩の推移と課題
- 地方公共団体における維持管理・更新の実施状況に関する現状と課題
- 国土交通省所管の社会資本に関する維持管理・更新費の推計と課題
- 維持管理・更新に関する制度面、体制面での現状と課題

第2章 今後目指すべき社会資本の維持管理・更新の方向性

- ・国民の安全、社会経済活動を支えている社会資本の維持管理・更新の重要性
- ・社会資本の維持管理・更新に重点をおいた体制の構築
- ・幅広い分野に及び性質が異なる社会資本の条件を考慮した課題の検討
- ・国民と一体となった社会資本の維持管理への取組の実現

第3章 戦略的な維持管理・更新に関する基本的な考え方

社会資本によって人々にもたらされる恩恵が次世代へも適切に継承されるよう、今後目指すべき**10の基本的な考え方**を整理

- 国の責務
- 国民の理解と協力の促進
- 社会資本としての役割を持続的に発揮させるための維持管理・更新
- 安全・安心を確保するための維持管理・更新
- 豊かな暮らし・環境や活力ある経済社会を実現するための維持管理・更新
- 維持管理・更新の重点化
- 機能・費用のバランスの取れた維持管理・更新
- ストック全体を見渡した調査・診断、評価及び活用
- 技術開発の推進
- 分野横断的な連携、多様な担い手との連携

第4章 戦略的な維持管理・更新のために重点的に講ずべき施策

現在直面している課題を克服するために**国土交通省等が重点的に講ずべき具体的施策を提言**

2. 維持管理・更新をシステマチックに行うための取組

- 維持管理・更新への「戦略的メンテナンス思想」の導入
- 維持管理・更新をシステマチックに行うための業務プロセスの再構築
- 長期的視点に立った維持管理・更新計画の策定
- 維持管理・更新に係る予算確保
- 維持管理・更新に係る入札契約制度の改善
- 維持管理・更新に軸足を置いた組織・制度への転換
- 施設の点検・診断、評価、設計及び修繕等を適切に実施するための技術者・技能者の育成・支援、資格制度の確立

1. 施設の健全性等を正しく着実に把握するための取組

- 全ての施設の健全性等を正しく着実に把握するための仕組みの確立
- 維持管理・更新に係る情報の収集・蓄積とカルテの整備
- 施設の健全性等及びその対応方針の国民への公表と国民の理解と協力促進

3. 維持管理・更新の水準を高めるための取組

- 効率的・効果的な維持管理・更新のための技術開発等
- 分野や組織を超えた連携と多様な主体との連携等
- 地方公共団体等への支援
- 地方公共団体等が円滑に維持管理・更新を行うための枠組みの提示

行政の動き

国土交通省港湾局での取組み

- 港湾施設の維持管理等に関する検討会
 - － 今後の維持管理・更新費の試算
 - － 今後の維持管理のあり方 など

- 中央道笹子トンネル事故を受けて
 - － 港湾法改正(2013年6月)、省令改正(2013年12月)
 - － 定期点検の「義務化」

- 今後の維持管理の推進に向けて
 - － 港湾施設の点検診断及び補修等対策技術に関する総合検討会
 - － 港湾施設の維持管理情報のあり方検討会

 - － 海岸保全施設維持管理マニュアル改訂調査委員会

今後のインフラマネジメントのあり方

○ 社会構造の変化

- 少子高齢化の進行 → 選択と集中、メリハリ、使い切る発想

○ 定期点検の確実な実施

- 維持管理データの蓄積 → 技術の発展
- 現場を見る機会の増加 → 意識の変化(様々な立場で)
- モニタリングへのシフト → 目的の明確化

○ 実施主体の多様化

- 予算や人員に制約のある管理者

○ 技術開発・人材育成

- 設計と維持管理の連携・フィードバック(情報、技術、基準、技術者)

○ 他にも・・・

- データベース、アセットマネジメント、入札、積算体系、法令・制度・予算、など

技術開発の推進

○ 計画・設計

→ 計画・設計段階からの維持管理の配慮、基準の見直し

○ データベース化

→ 維持管理データの保管・参照・利用、劣化予測・LCCの算定との機能分離

○ 点検・モニタリング・補修・補強(更新)

→ 省力化、高精度化

○ アセットマネジメント

→ 予算の平準化、事業の優先順位付け、予算配分

○ 「場」の提供

→ 産官学の連携、等

人材育成の推進

○ 大学教育

維持管理工学の体系化

テキストブック等の教材の充実

総合工学としての位置付け

魅力の増大、等

○ 社会人教育

新設から維持管理へ

構造物の真の振る舞いを予測できる人材

技術の伝承

海洋・港湾構造物維持管理士等の資格活用

やりがいの確保、等